

福祉文教常任委員会会議録

令和5年9月13日

忠岡町議会

忠岡町議会福祉文教常任委員会会議録

日 時 令和5年9月13日(水) 午前10時00分開会

場 所 委員会室

1. 出席委員

福祉文教常任委員会委員長	前川 和也
〃 副委員長	二家本英生
〃 委員	小島みゆき
〃 委員	三宅 良矢
〃 委員	尾崎 孝子
〃 委員	河野 隆子
議長 (オブザーバー)	北村 孝

1. 欠席委員

なし

1. 出席理事者

町 長	杉原 健士	副 町 長	井上 智宏
教 育 長	富本 正昭	町長公室長	立花 武彦
秘書人事課長	中定 昭博	財政課長	岩佐 式人
健康福祉部長	泉元 喜則	地域福祉課長	藤原 直臣
高齢介護課長	武藤 優子	保険課長	泉 亜希
健康こども課長	谷野 彰俊	教育部長	二重 幸生
教育部理事兼学校教育課長		教育みらい課長	森野 英三
	石本 秀樹		
学校教育課参事	三好 泰隆	学校教育課参事	村田 真隆

1. 本議会の職員

事務局長	柏原 憲一
主 査	酒井 宇紀
主 査	岩間早百合

委員長（前川和也議員）

おはようございます。

ただいまより福祉文教常任委員会を開会いたします。

（「午前10時00分」開会）

委員長（前川和也議員）

なお、本日の会議は傍聴を許可しておりますので、よろしくお願ひいたします。

委員長（前川和也議員）

本日の出席委員は、6名の全員ですので、委員会は成立いたしております。

委員長（前川和也議員）

会議録署名委員は、委員会条例第26条の規定によりまして、5番の二家本委員を指名いたします。

委員長（前川和也議員）

開会に先立ちまして、町長よりご挨拶を頂きます。

町長（杉原健士町長）

委員長。

委員長（前川和也議員）

町長。

町長（杉原健士町長）

おはようございます。福祉文教常任委員会に際しまして、早朝より議員皆様方ご参集いただきまして、ありがとうございます。

今回、付託案件につきまして2件の案件ではございますけれども、どうぞ忌憚のない意見を頂きながらご賛同願えれば幸いかなと思っておりますので、どうぞよろしくご審議のほどお願いいたします。

以上でございます。

委員長（前川和也議員）

ありがとうございました。

9月8日の本会議におきまして、本委員会に付託を受けました議案2件の審査を行います。これより議案書に基づきまして議事を進めてまいります。

委員長（前川和也議員）

案件. 令和5年第3回忠岡町議会定例会付託案件についてを議題といたします。

委員長（前川和也議員）

まず1つ目、議案第34号 令和5年度忠岡町一般会計補正予算（第3号）についてを、本常任委員会に係る部分についてのみ説明を求めます。

教育みらい課（森野英三課長）

委員長。

委員長（前川和也議員）

森野課長。

教育みらい課（森野英三課長）

それでは、議案書の13ページをお願いいたします。議案第34号、令和5年度忠岡町一般会計補正予算（第3号）について、ご説明させていただきます。

第1条は歳入歳出予算の補正で、歳入歳出予算の総額にそれぞれ4億1,671万7,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を90億2,146万6,000円とするものでございます。

第2条は地方債の補正で、地方債の変更は第2表、地方債補正によるものでございます。

それでは、福祉文教に関連するもののみ読み上げさせていただきます。17ページ、第2表、地方債補正をお願いいたします。地方債の変更でございます。今回の変更は、町立小・中学校防犯カメラ設置事業の実施に伴う地方債の追加でございます。起債の目的は、小学校整備事業債で250万円の追加、中学校整備事業債で120万円を追加するものでございます。

21ページ、お願いいたします。歳入で第14款 国庫支出金、第2項 国庫補助金、第2目 民生費国庫補助金で、補正額219万8,000円は、子育て世帯生活支援特別給付金ひとり親世帯以外分給付事業費補助金ほかでございます。第9目 教育費国庫補助金で、補正額936万3,000円は、学校施設環境改善交付金及び地方スポーツ振興費補助金でございます。

次ページに参りまして、第15款 府支出金、第2項 府補助金、第2目 民生費補助金で補正額18万5,000円は、子ども・子育て支援交付金でございます。第20款 諸収入、第4項、第1目 雑入で、補正額1,522万3,000円は、介護保険特別会計繰出金精算返還金及び町村振興共済事業費負担金でございます。第21款、第1項 町債、第9目 教育債で、補正額370万円は、小学校整備事業債及び中学校整備事業債でございます。

次に、歳出でございます。29ページをお願いいたします。第3款 民生費、第1項 社会福祉費、第1目 社会福祉総務費で、補正額750万3,000円は、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付事務補助金精算返還金ほかでございます。次ページに参りま

して、第2目 障がい福祉費で、補正額1,582万2,000円は、障がい者自立支援給付費負担金精算返還金ほかでございます。第3目 高齢者福祉費で、補正額11万1,000円は、低所得者保険料軽減負担金精算返還金でございます。

32ページに参りまして、第2項 児童福祉費、第1目 児童福祉総務費で、補正額748万9,000円は、子育て支援センター業務委託料ほかでございます。子育て支援センター業務委託料については、国庫補助金の単価変更に伴うものでございまして、国及び府の子ども・子育て支援交付金でそれぞれ3分の1ずつ財源措置がされております。

34ページに参りまして、第8目 子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費で、補正額201万3,000円は、子育て世帯生活支援特別給付金で令和5年度の非課税世帯確定に伴う追加で、全額国費で措置をされます。

41ページに参りまして、第10款 教育費、第2項 小学校費、第1目 学校管理費で、補正額572万6,000円は、町立小学校防犯カメラ設置工事関連経費でございます。第3項 中学校費、第1目 学校管理費で、補正額280万7,000円は、町立中学校防犯カメラ設置工事関連経費でございます。町立小・中学校の防犯カメラ設置事業につきましては、今年に入ってから複数件、学校への不審者の侵入、傷害事件が発生したことも受けまして、国が特別防犯対策施設整備工事として令和7年度まで時限措置で学校施設環境改善交付金の補助率がかさ上げと、地方債において充当率及び交付税措置の拡充を実施してございまして、来年度以降にこちらは実施を予定してございましたが、今年度、前倒しで補助金が採択されたため実施するものでございます。

第5項 保健体育費、第3目 スポーツによる地域活性化推進事業費で、補正額515万5,000円は、泉大津市医師会と合同で作成する運動スポーツ関連資源マップ作成事業関連経費でございます。こちらの財源としての国の地方スポーツ振興費補助金509万7,000円が措置をされます。

説明は以上でございます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

委員長（前川和也議員）

説明は、以上のとおりです。

これよりご質疑をお受けいたします。三宅委員。

委員（三宅良矢議員）

2点ほど質問させていただきます。

41ページの防犯カメラなんですけど、何台ぐらい、どのような箇所に、こういった形のものを導入するか、もうちょっと詳細お教えてください。

教育みらい課（森野英三課長）

委員長。

委員長（前川和也議員）

森野課長。

教育みらい課（森野英三課長）

防犯カメラ設置台数なんですけども、忠岡小学校で4台。場所につきましては、正門と給食室側の門、あとは旧の忠岡幼稚園側の門、あと裏の教職員の通用門、こちらの4か所に設置予定をしております。

続いて、東忠岡小学校、こちらも4台でございます、場所は正門、同じく給食室横の門、留守家庭児童学級側の門、それと体育館側にある門、こちらの4か所になっております。

忠岡中学校、こちらにつきましても4台設置予定でございます、場所につきましては正門、裏門、体育館側の門と、体育館裏にも門がございますので、そちらの4か所設置予定となっております。

委員（三宅良矢議員）

委員長。

委員長（前川和也議員）

三宅委員。

委員（三宅良矢議員）

ありがとうございます。こういうようなことぐらいちょっと聞かれると思うんで、できたら何かそういう資料じゃないですけど、こういった形で設置されるとか、また作ってもらえたら、ほんまやったら丁寧にしてしてくれてるなあって感じるんですけど、なかなかこれ、説明だけポポポンとされて、聞かれへんかったら、じゃあ聞かれるまで多分答えないのかなみたいな、多分昨日の総務とか、これまでもたびたび言われたと思うんで、やっぱりこういうちょっと住民さんの耳目を集めるやつに関しては、ちょっと丁寧な、事前に資料なりを別につけてほしいなと思うところなんです。

それに加えて、ちょっと質問なんですけど、最近やったらAIと連動させて、例えばですけど、不審者の動きってあるじゃないですか。不審な動き等を察知して、まあ一般の会社やったら警備会社とかに通報されたり、自動で通報されたりとか、あと防犯モニターに自動にその部分だけ映るとか、撮影されるとか、何か警告鳴るとか、いろんなタイプって今、東京へ行ったときにいろんなのを見せてもらったんですよ。これ、どういう内容のものか知らんと思うんですけど、一般的には多分ただ撮影してるっていう、要は威嚇ですよ、不審者に対する、というものになると思うんですけど、何かそういうようなところの検討というのはなかったのかというところと、これがそうやったらそれでいいんですけど、今後そういうような検討はないでしょうかということの質問なんです。

教育みらい課（森野英三課長）

委員長。

委員長（前川和也議員）

森野課長。

教育みらい課（森野英三課長）

今回、設置で検討されておりますビデオにつきましては、委員お示しのような機能は特にはついておりません。中身としては、210万画素程度のものを予想しております、フルハイビジョンで赤外線照明内蔵というところで、夜間でもくっきりと映るような形のものというところでは提案いただいております。

委員（三宅良矢議員）

今のところ、ないんやったらないでいいですよ。それはそれで、またこっちが言うていかなあかんことやとは思うので。

教育みらい課（森野英三課長）

委員長。

委員長（前川和也議員）

森野課長。

教育みらい課（森野英三課長）

すみません、委員お示しの内容につきましては、現在検討はしておりませんので、今後また検討させていただきます。

委員（三宅良矢議員）

委員長。

委員長（前川和也議員）

三宅委員。

委員（三宅良矢議員）

加えて、今の新しくできた忠岡の認定こども園には防犯カメラって、これとはちょっと派生してしまうんですけど、設置状況とか、その辺どんなものなのか、教えていただければありがたいんですが。

教育みらい課（森野英三課長）

委員長。

委員長（前川和也議員）

森野課長。

教育みらい課（森野英三課長）

東忠岡こども園につきましても防犯カメラ設置済みでございます。台数も4台設置しております、正面の門の部分と裏門の部分、あとは園庭を映す部分と、外に置いてあります子育て支援センターにも1台設置をしております。計4か所設置しております。

委員（三宅良矢議員）

分かりました。ありがとうございます。委員長。

委員長（前川和也議員）

三宅委員。

委員（三宅良矢議員）

続きまして、43ページのスポーツ関連資源マップなんですけど、これは具体的に何を
目指して作るものなんですかね。その目的というか目標というか、は何になってくるんで
しょうか。

教育部（二重幸生部長）

委員長。

委員長（前川和也議員）

二重部長。

教育部（二重幸生部長）

現在ですね、超高齢化社会という中におきまして、高齢者自身が健康寿命を考えるきっ
かけにつきまして、国のほうが地域の中で運動、スポーツを行うコミュニティづくりとい
うものを求めてきているんですね。そのような状況を踏まえて、泉大津市の医師会のほう
から、忠岡町においてもそういうコミュニティづくりをしてはどうかというご提案があっ
たというところでございます。そこで、泉大津市医師会と連携をしましてですね、最終的
な目標としましては、運動・スポーツ関連資源マップというのを作成します。

具体的に中身という部分なんですけども、要は町内と泉大津市内の各医療機関、それと
運動・スポーツ関連施設をそのマップのほうに掲載をいたします。で、そのマップをそれ
ぞれの各医療機関で患者さんに対して積極的に推奨をしていくということで、患者さんの
意識を変えて、運動・スポーツにつなげるというところでございます。それが結果的には
高齢者の健康増進につながっていくというようなことで、今回そのマップを作成していく
ということになります。

委員長（前川和也議員）

三宅委員。

委員（三宅良矢議員）

そのマップを作成した上で、そういう内容ですと。町として、そのベースをもって何か
その戦略というか、こういうような取組につなげていきたいとか、次年度以降の予算でこ
ういうような事業を開始してとか、こういうような機関とつながって、こういうような展
開をしていきたいとか、何かそういうような見据えたような考えというのはないんでしょ
うか。

教育部（二重幸生部長）

はい。

委員長（前川和也議員）

二重部長。

教育部（二重幸生部長）

取りあえず今回はマップを作らしていただくと。で、当然今、議員お示しのようにです

ね、作るだけでは意味がございませんので、来年度以降、そういったものを、今申し上げたまずは医療機関で活用していただくと。で、それがいわゆる高齢者の健康増進につながっていくというところで、最終的には町のいわゆる医療費系ですね、その辺りを抑制していくような活動につなげていけるのではないのかなというふうには考えておりますが、その辺りに関しましては今後は、来年以降は健康福祉関係のところ様々いろんな現在やっ
てる取組も踏まえて、その辺りはいろいろと関連づけをしていっていただけるのではないのかなというふうには考えております。

委員（三宅良矢議員）

委員長。

委員長（前川和也議員）

三宅委員。

委員（三宅良矢議員）

分かりました。ちなみにですけど、どれぐらいのボリュームになってくるんですかね。この金額で何千冊ぐらいをどのようなページ、何十ページ構成でとか、そういうどんなボリュームを作っていくのかというのも全然何か、これは分かるんですよ。でっかい紙ペライチもんなのか、冊子系なのか、パンフ系なのかって、いろいろあるじゃないですか。パンフ系とかやったら、例えば医療機関に置かれて終わりやったら、多分ほぼほぼ活用されへんと思ってもええと思うんですよ、正直なところですよ。そういう言い方は悪いかもしれないですけど、そこも関わってくると思うんで、どういったものをどれぐらい作るのかなって。

委員長（前川和也議員）

二重部長。

教育部（二重幸生部長）

今、想定してますのは、A3の1枚もののマップを、忠岡町と泉大津市の医療機関に配布する予定となっておりますので、すみません、具体的には今のところ3,000部を計画しております。それはあくまでも紙ベースなんですけど、電子ベースというんですかね、というのももちろん一緒に作りますので、その辺は町のホームページであったりとか、各医療機関のホームページ等々にもそういうのは掲載して行って、今後も継続してそこで確認はできるような形はとっていくというふうには聞いております。

委員（三宅良矢議員）

委員長。

委員長（前川和也議員）

三宅委員。

委員（三宅良矢議員）

願うところは、ただの医療機関マップにならへんことだけを祈りたいところなんで、何

か今のままでいくと、その医療機関とスポーツ施設の場所だけ載せて、はい、終わりですというふうに、ちょっと何かね、そういうふうなだけにしか、作りました的なことにしか
なれへんのかなと思ってくるんで、国が作れと言うてる中やから、なかなかその汎用性、
厳しいとは思いますが、もうちょっと何かその載せれるような中の業種にもうちょっ
と工夫が欲しいかなって。今のままでいくと、僕の勝手な受け取りは、病院と、まあいつ
てデイケアとか、そういうレベルで、あとコパンさんとかで終わってしまわれへんかなっ
ていうのがあるので、もうちょっと高齢者の、じゃあ例えば楽しみで出れるとことか、そ
ういうようなものまでに、出かけて、そこでしゃべるだけでもやっぱりリハビリじゃない
ですか、高齢者にとったら。80、90になってきたら。何かそういうようなものも含め
て、何か掲載して作ってほしいなというところは強く願うところでもあります。

教育部（二重幸生部長）

委員長。

委員長（前川和也議員）

二重部長。

教育部（二重幸生部長）

これから作成に入っていきますので、で、実行委員会というものを立ち上げて作成して
いきますので、今ご指摘のあったような部分に関しましてはですね、提案していきたいな
というふうに考えておりますので、よろしくをお願いします。

委員（三宅良矢議員）

お願いします。以上です。

委員長（前川和也議員）

他に、いかがでしょうか。小島委員。

委員（小島みゆき議員）

すみません、先ほどの三宅委員のおっしゃった防犯カメラのところなんですけども、各
小学校、中学校で4台というふうにお聞きしたんですけども、これは新たに4台つける
ということよろしいんですか。

教育みらい課（森野英三課長）

委員長。

委員長（前川和也議員）

森野課長。

教育みらい課（森野英三課長）

はい、そのとおりでございます。

委員長（前川和也議員）

小島委員。

委員（小島みゆき議員）

以前にも何か質問させていただいたときに、正門のところとかについて、ちゃんと防犯対策してますということで、何かモニターを見て、不審者が来たときにはちゃんとモニターを見てやってますということをお聞きしたんですけども、また新たにそれって、そしたら全部で何台になるんですか。

教育みらい課（森野英三課長）

委員長。

委員長（前川和也議員）

森野課長。

教育みらい課（森野英三課長）

今、委員お示しの内容につきましては、門、施錠しておりますので、インターホンを設置しております、そのモニターのご説明の部分が今おっしゃられてる部分になるのかなと思いますので、今回はインターホンのモニターとはまた別で、防犯カメラというものを各施設4台ずつ設置というところになっております。

委員長（前川和也議員）

小島委員。

委員（小島みゆき議員）

質問させていただいたときに、防犯カメラ設置されてるんですかと言ったときに、ちゃんと設置してますって。それで、門の施錠とかも全部オートロックでできてますというお答えを頂いたので、私はもう防犯カメラはついてるものやと思ってたんですけども、ちょっとそのところが、そしたら防犯カメラはその時点ではついてなかったということになるんですかね。

教育部（二重幸生部長）

委員長。

委員長（前川和也議員）

二重部長。

教育部（二重幸生部長）

中学校に関しましてはね、実際、過去において防犯カメラのほうは設置してるんですけども、実際のところはもう設備、機械自体がもう古くなっておりまして、今現在、事実上は稼働できてない状況になってるんです、ここ数年間は。ですので、今回、補助金等が有利になったというところで、改めてといいますか、新たに設置させていただくというふうになっておりますので、すみません、ご理解をお願いしたいと思います。

委員長（前川和也議員）

小島委員。

委員（小島みゆき議員）

そしたら、私、令和3年の12月のときに質問させていただいたんで、その辺りでちょ

っと中学校とか、多分幼稚園とかに不審者が入ってきたりとかいう問題があつて、ちょっと質問させていただいたと思うんですけど、そのときに防犯カメラとかお聞きしたときには、ちゃんとしてますという説明やつたど、私、ちょっと議事録も見返したらそういうふうになつてたので、それについてるものやと思つたので、新たに正門と言われたので、あれ、何でやろうというふうに思つたんですよ。それは門のところについてるインターホンやつたということど。ついてないんやつたら、ついてないですと言つてもらつたら、私、そこで納得したんですけど、防犯カメラは設置されているんですか。防犯カメラは設置されてますかかって聞いたときに、ちゃんとそういうのしてますというお答えやつたので、それで、そしたら大丈夫ですねと、多分私、返事させてもらつたと思うんですよ。

委員長（前川和也議員）

二重部長。

教育部（二重幸生部長）

すみません、ちょっとその具体的な答弁内容を今はっきりと覚えてませんので申し訳ないんですが、保育所に関してはもうかなり早い時期から設置しておりました。で、そこは私も何回も確認はさせていただいてます。

あとの幼稚園、小学校に関しましては、今最初、課長が申し上げたように、いわゆるインターホンですね、その部分というのはもちろんつけておつたんですけど、ただ、その小学校、幼稚園に関しては、ちょっと僕の記憶の範囲内では設置していないというふうに理解してゐるんですが。中学校は、先ほど申し上げたように設置はしてましたが、実際、稼働できてなかつたというふうに理解してゐるんですけども。

インターホンにはもちろんモニターがありますので、誰が来たかというのは職員室で確認はできますので、そういった形の答弁をさせていただいたのではないのかなというふうには考えておるんですけども。

委員長（前川和也議員）

小島委員。

委員（小島みゆき議員）

また私も、もう一度ちょっと確認させていただきます。そしたら、今はないから新しくこれをつけるということどよろしいですね。はい、分かりました。

委員長（前川和也議員）

三宅委員。

委員（三宅良矢議員）

今、小島委員さんの質問の回答でちょっと気になつたところがあつて、事実上、稼働できてないというんですけど、それ、いつからできてないんですか、事実上。多分僕だけが聞かされてない、知らんかつたかもしれんけど、結構それをさらつと言われたんですけど、結構重要なことやと思うんですけどね。いつ頃からそれ稼働できてないって、それを

いつ頃認識されて、その状況を何年放っておいてはったのかなって、それはちゃんと答えていただかないと。知ってる方がおらへんのやったら別にいいですけど、僕は全然聞いたことなかったし。

教育部（二重幸生部長）

はい。

委員長（前川和也議員）

二重部長。

教育部（二重幸生部長）

すみません、正確にいつからというのはちょっと。

委員（三宅良矢議員）

大体でいいですよ、何年ぐらいから。

教育部（二重幸生部長）

少なくとも私が教育の課長になったときには稼働していなかったと思います。

委員（三宅良矢議員）

大体何年前ですか、それ。二重さんが課長になったのは。

教育部（二重幸生部長）

平成の終わりぐらいですね。

委員（三宅良矢議員）

じゃあ、少なくとも5年ぐらいは放置してたんですよね。ちょっとその辺が、今さらっとは言われたんですけど、ここまで延ばしてて、でも、まあまあ知ってる議員さんもおるんかもしれないんですけど、言われへんかったら動いてるものやとしかみなしてないじゃないですか。今の話でいくと、じゃあ、ほかの忠岡町の防犯カメラ、皆どうやねんという話にもなってくるし。

教育部（二重幸生部長）

委員長。

委員長（前川和也議員）

二重部長。

教育部（二重幸生部長）

その当時、私もそれが実際稼働できてないということで、大変やというふうに思いましたので、早急に設置しようと思ひまして、いろいろ業者ともやり取りはさせていただいたんですが、実際、財政的に厳しいという話が出てきまして、それであれば、私はリースというやり方もあるというふうに提案はさせていただいたんですが、それもその当時は財政的には取り下げされたというところなんです。で、今回、補助金のかさ上げがあったというところで、設置のほうを認めていただいたというふうな流れであるというふうに私は認識しております。

委員（三宅良矢議員）

はい。

委員長（前川和也議員）

三宅委員。

委員（三宅良矢議員）

別に二重部長を責めてる、責めてると言うたら変ですけど、二重部長個人の責任で、その辺もちょっとどうかなと思うんですけど、やっぱり壊れてる、故障してるとか、動かないとか、それやったら定期的に報告欲しいんですよ。だって、それで議会で、いや、作るべきだって押せるわけじゃないですか。そこを多分そう言わへんかったと思うんですけどね、5年間も。分かんないですよ、結果論なんで。じゃあ、それこそ忠岡町内の防犯カメラ含めて、みんなちゃんと動くんですかというのは、毎年毎年、不信になってくるわけじゃないですか。基本言われへんかったら、聞くまで答えませんという態度なんやなというふうに、逆に変なうがった見方もしてしまうし、不信感と言ったら悪いですけど、何かもやもや感しか残らないですよ、これ質疑したら。

故障したり事実上使えなくなったら、これからはちゃんと報告しますとか、はっきり学校含めてですよ、その地域の防犯カメラを含めて言うてくれるんやったら、それはそれで1つの回答かなとも思いますし、それは聞かれるまで答えませんし、詳細は述べませんと言うんやったら、それはそれで1つの回答やと思うんですけど、その辺の態度はちゃんとしっかりしてほしいなどは僕は思います。

委員長（前川和也議員）

二重部長。

教育部（二重幸生部長）

結果的に議員ご指摘のとおり、黙っていた、隠していたということにつながるのかなとは思いますが、先ほども申し上げたとおり、一応教育としてはこういう状況であるというのは内部的には報告はさせていただいてますので、そこに関してはこの議会の場で、今こういう状況なんですというふうなことは教育だけのことではないと思いますので、そこは今後、公室のほうとも調整しながらですね、報告といいますか、そういうことは考えていかなければいけないのかなとは思いますが、決して、結果的には隠していたということにはなるんでしょうけど、そこはご理解いただきたいなとは思いますが。

委員（三宅良矢議員）

どう発言すればよいのか、言葉が見つからんのと一緒に。

議長（北村 孝議員）

委員長。

委員長（前川和也議員）

北村議長。

議長（北村 孝議員）

私も小島議員、三宅議員の質疑で、ついてるのが当たり前やと思って、このご時世ですよ、ついてるのが当たり前やと思って、今回のこの件でも更新されるのかなというぐらいの感じで思ってたんです。ところが、新設やということで、三宅さんのあれになかなか答えにくい、苦しい答弁をされてますけど、これ、たまたま学校に不審者がなかったということで来てますけど、これ、もしあった場合、その辺はかなりやっぱり追及されると思うんです。そやから、その辺の危機的な意識というのは、教育としてどう思っているのかなというのが、ちょっとその辺が、このご時世に何なんという、危機的な意識、危機感、どない捉えてはるんかなと。ちょっとその辺、聞かせてほしいんですけど。

その分かかって、知らなかったらいいですよ。起動というか、機械が正常に動いてないとか知らなかったんですよ。分かっている話が5年も6年も前から分かってたという、この辺もちょっとどうも不信しかないですね。その辺、危機的な意識というのはどの程度持っているのかなと思うんですけど。危機管理というんか。

教育部（二重幸生部長）

委員長。

委員長（前川和也議員）

二重部長。

教育部（二重幸生部長）

ご指摘のとおりやとは思いますが、当然、危機管理意識というものは常々持っているとは思ってます。先ほども申し上げたとおりですね、その当時も別件の何かが起こって、で、改めて確認したときに、結果として映ってなかったというのが発覚しましたので、その辺りを財政とも協議した上で、設置してほしいと。その当時、小学校にも設置がなかったので、小学校にも設置をしてほしいということで、私としては申し上げたんですけども、そのときには採択されなかったというので、結果としてこの時期に、今の時期になってしまったというところなんですけども。

議長（北村 孝議員）

委員長、すみません、もうこれで終わります。

委員長（前川和也議員）

北村議長。

議長（北村 孝議員）

防犯カメラをつけたから、例えば侵入者がおって、例えば傷つけられるようなことがなかったということは恐らくないと思うんです。ただ、犯人の特定というか、そういう状況の検分ぐらいやと思うんですけども。

で、さっきの話の中で、お金もなかったということですけど、こんなんお金のあなしの問題で、1台そんな何百万もしないでしょう。その辺の感覚がちょっと、ええっと、何

か疑わざるを得ないといふところなんで、今後ちょっとその辺しっかりとやっていってもらわないと、いろんなことで議員から指摘受け、またこういうことから言われんでもええようなことをまた言われてしまうといふところにつながるのですね。まあ立場上、いろんなことで大変やと思いますけど、もうちょっとしっかり現場といふか、その辺察知して、要らんものはつけらんでもええと思うんですけど、何度も言うようやけど、このご時世に今までついてなかったといふことは、私はもうついてるものやと、それが当たり前やと思って今日まで来てましたんでね。

そういうことで、答弁結構です。そういったことなんで、しっかり今後また、今回を機会にまたいろんなもので危機管理といふか、その辺のことにちょっと気をつけてやっていただきたいと、こう思います。結構です、はい。

教育部（二重幸生部長）

委員長。

委員長（前川和也議員）

答弁しますか。求められてませんけども。

教育部（二重幸生部長）

はい。

委員長（前川和也議員）

二重部長。

教育部（二重幸生部長）

ご指摘のとおりやと思います。ただ、教育委員会、教育施設、小学校、中学校含めていろんな施設を我々所管しております。で、もちろんほとんどがこども園以外は全て老朽化をしているというのが現状でございます。毎年、様々な修繕であったり不具合といふのは、もうほんとに起きてます。

で、当然今おっしゃられてるような安全・安心という部分も含めてですね、なかなか全てを一遍にというのは本当にしんどいという部分がありますので、そういう中でも優先順位を決めてですね、いろいろと取り組んでいるとは考えてはおりますが、今のご指摘のあった部分、もう1回再度その辺り、教育委員会としましても再検討といひますか、そこらの部分ですね、をまた財政当局とも調整しながら、ほんとにいつまでも置いとくといふのはほんとにおかしな話やと私も思いますので、その辺り、できるだけ早急に安全・安心という部分を確立していきたいなというふうに考えておりますので、今後ともよろしく願いしたいと思います。

議長（北村 孝議員）

お願いします。機械物やからね、定期的になんてちょっと点検的な形でやっていってもらったらええんかなと思います。動かない、稼働してなかったという部分についてね。すみません。

委員長（前川和也議員）

他に、いかがでしょうか。

委員（河野隆子議員）

委員長。

委員長（前川和也議員）

河野委員。

委員（河野隆子議員）

今、防犯カメラのお話がありました。優先順位があるといえども、これは優先順位で上のほうであろうというふうに思いますので、今回つくんですけど、子どもの命を守るためにもっと早くから設置しておかなくてはいけなかったのかなというふうにも思いますが、この防犯カメラの設置の設計業務と、あと設置工事の金額が出てるんですが、工事の割にこの設計業務の委託料が非常に高い割合だなというふうに思ったんですけど、これはやっぱり設計にはかなりお金がかかるんですか。

教育みらい課（森野英三課長）

委員長。

委員長（前川和也議員）

森野課長。

教育みらい課（森野英三課長）

こちらの設計の費用につきましても、実績ある業者からの参考見積りをベースで本町のほうで設計を組んでおりますので、そちらの金額でいくと、このぐらいの予算に見込まれたというところになっておりますので、よろしく願いいたします。

委員（河野隆子議員）

委員長。

委員長（前川和也議員）

河野委員。

委員（河野隆子議員）

入札は、これは一般競争入札でされるんですか。

教育みらい課（森野英三課長）

委員長。

委員長（前川和也議員）

森野課長。

教育みらい課（森野英三課長）

金額的には指名競争入札の予定をしております。

委員（河野隆子議員）

委員長。

委員長（前川和也議員）

河野委員。

委員（河野隆子議員）

先ほど台数のほうをお聞きしました。東こども園のほうね、こちらはもうついているところで、門のほうにも防犯カメラ設置というふうに大きく看板みたいなのを上げられてるので、ある程度抑止力にはなるのかなというふうには思うんですが、すみません、ちょっとさっき説明があったかもしれませんが、これはカメラをつけて、どこかでモニターが映ってるわけなんですか。

教育みらい課（森野英三課長）

委員長。

委員長（前川和也議員）

森野課長。

教育みらい課（森野英三課長）

すみません、説明、漏れておったと思いますが、各施設、職員室にモニターを設置しております、予定しておりますので、その分はモニターで4か所同時にモニタリングできるというものになっております。

委員（河野隆子議員）

委員長。

委員長（前川和也議員）

河野委員。

委員（河野隆子議員）

そうしましたら、不審者というのはどんな方法でも入ろうと思ったら入ってくるわけなんですが、必ずずっとモニター、4つ画面がこうあって、見とかないといけないというふうに思うんですが、それは職員さんが交代で見るということなんでしょうか。どうですか。

教育みらい課（森野英三課長）

委員長。

委員長（前川和也議員）

森野課長。

教育みらい課（森野英三課長）

今、委員ご質問の件なんですけど、常時どの者かが張りついて監視というものではございませんし、あくまでも防犯上のものというものと、記録するというものがメインになってきますので、何かしら不審者が入ってきた場合等には、後日確認するようなものがメインになってくるかと思います。

委員（河野隆子議員）

委員長。

委員長（前川和也議員）

河野委員。

委員（河野隆子議員）

分かりました。先生も忙しいですからね、職員室の中でしたら、どなたかがそのモニターの前を通るといところで、ある程度見れるのかなというふうに思いますけれども、あと、東の認定こども園のほうなんですけどね、防犯カメラつけてあるんですが、受付員さんというか、いつも門のところに立っていらっしゃった方がいらっしゃいますが、それはちょっと継続で今後もお雇いになるというか、継続されるということでもいいんでしょうか。

教育みらい課（森野英三課長）

委員長。

委員長（前川和也議員）

森野課長。

教育みらい課（森野英三課長）

継続して配置しております。

委員（河野隆子議員）

はい。

委員長（前川和也議員）

河野委員。

委員（河野隆子議員）

ありがとうございます。

あと、子ども・子育て支援交付金とかがいろいろ出てますけれども、新たにそういうふうに対象になられた方とかがいらっしゃって、必ず漏れないように、そこら辺はちゃんとチェックはされているんでしょうか。

教育みらい課（森野英三課長）

委員長。

委員長（前川和也議員）

森野課長。

教育みらい課（森野英三課長）

今のご質問は、子育て、委託料の分の。

委員（河野隆子議員）

委託料、給付金ね。

健康こども課（谷野彰俊課長）

すみません、委員長。

委員長（前川和也議員）

谷野課長。

健康こども課（谷野彰俊課長）

今回ちょっと補正対応させていただいたものにつきましては、令和5年度の住民税の課税状況が確定しましたので、児童手当受給者である方は税を引っ張ってこれますので、そこで確認して、これから議決いただいた後に、10月に入ってから通知させていただく予定をしております。

委員（河野隆子議員）

分かりました。一旦終わります。

委員長（前川和也議員）

他に、いかがでしょうか。

委員（二家本英生議員）

委員長。

委員長（前川和也議員）

二家本副委員長。

委員（二家本英生議員）

すみません、4点ほど質問させていただきます。

まず、先ほどカメラの質問があって、大体の話は分かったんですけども、ちょっと1点だけ確認したいことがありまして、二重部長のほうに課長に就任してから、五、六年ぐらい前ですかね、就任されてからカメラが壊れてるということで、予算要望とかされてたというのを言っていたんですけども、で、結局それは実現しなかったという話だったんですけど、それ以降、ずうっとそれは予算要望とかされてたんでしょうか。

委員長（前川和也議員）

二重部長。

教育部（二重幸生部長）

先ほども申し上げたとおりですね、教育委員会、様々な所管施設がありますので、その防犯カメラに関してを継続的に要望していたのかということに関しては、継続的には要望はしていません。ほかの修繕とかいろんな部分はその都度その都度いろいろ出てきますので、その辺りはその優先順位といいますか、大きい部分がもし出てきたら、そちらを要望もしますが、なかなかその予算枠というものが決まってる中ですので、なかなか、特に補助金とか、そういった部分でですね、有利不利というのもございますので、継続的には要望はしていなかったというところが実情でございますので、よろしく申し上げます。

委員（二家本英生議員）

委員長。

委員長（前川和也議員）

副委員長。

委員（二家本英生議員）

優先事項とかもある中でね、先ほど各委員からも、これは最優先事項ということでおっしゃられたので、やっぱり単年度だけでなく、一番最初にこれを載せていかないといけないところだったと思うんで、今後こういうことがないようにお願いしたいと思います。

ちょっと別の質問に移ります。まず、32ページの、先ほどちょっと河野委員から質問があったんですけど、子育て支援センターのことについてなんですけども、こちらにかかっている委託料というのは、最初に説明を伺ったところ、民間施設における国庫補助金が単価変更になったからということで委託料の追加が発生したということでお伺いしています。この民間もそうなんですけど、今度10月から町立の子育て支援センターが開設されるということで、まず、その町立の子育て支援センターの体制についてちょっとお伺いしたいと思います。

教育みらい課（森野英三課長）

委員長。

委員長（前川和也議員）

森野課長。

教育みらい課（森野英三課長）

議員お示しの子育て支援センターの体制につきましては、こども園園長兼支援センター長というところで1名配置、また専属の主幹保育教諭が1名配置、あとは会計年度の保育教諭が2名配置の、合計4名体制で体制を予定しております。

委員（二家本英生議員）

委員長。

委員長（前川和也議員）

副委員長。

委員（二家本英生議員）

当初、10月から開設に向かって4名体制でやっていくということでした。子育て支援センターって様々な業務が求められると思うんですけども、この4名の体制でその子育て支援センターの4つの役割をこなしていくことは可能なんですか。そこ、確認をお願いします。

教育みらい課（森野英三課長）

委員長。

委員長（前川和也議員）

森野課長。

教育みらい課（森野英三課長）

現状、実際一時預かりというものがどのぐらいニーズがあるかというところにもかかってはくるんですけど、現時点では今の体制で十分支援等々、行っていけると認識しております。

委員（二家本英生議員）

委員長。

委員長（前川和也議員）

二家本副委員長。

委員（二家本英生議員）

せっかく子育て支援センターが町立でできるということなので、こちらのほうの運営をしっかりとっていただきたいなと思ってます。

あと、忠岡町内にほかの民間の2か所の子育て支援センターがあります。そことの連携とかも当然やっていくとは思いますが、やっぱり今回できるのは町立で唯一の子育て支援センターになりますので、忠岡町の町立としてほかの2つの子育てセンターの連携をとって中核的な役割を多分果たしていただろうと思いますけど、その点についてはいかがでしょうか。

教育みらい課（森野英三課長）

委員長。

委員長（前川和也議員）

森野課長。

教育みらい課（森野英三課長）

公立の支援センターを立ち上げるというところで、民間2園のセンターと合わせてセンター長会議というものを定期的には開催は予定しております。また、町内のそういった3施設というところで、合同して何か行事ができるものがあれば、どんどん公民連携しながらやっていきたいなというところで協議は進めておりますので、よろしく願いいたします。

委員（二家本英生議員）

委員長。

委員長（前川和也議員）

副委員長。

委員（二家本英生議員）

中核的な役割で、忠岡町の子育ての相談窓口の中核的な役割として、これから運用していただきたいと思います。

続きまして、これも先ほど少し質問あったんですけど、34ページの子育て世帯生活支援特別給付金ということなんですけども、これ先ほどの説明では、令和5年の非課税が確定したからということで、今回、補正予算を組まれてるわけなんですけども、その家庭に

対して、対象の家庭に対してどのような通知方法をされるか、まずお伺いいたします。

健康こども課（谷野彰俊課長）

委員長。

委員長（前川和也議員）

谷野課長。

健康こども課（谷野彰俊課長）

今現状、こういう制度がありますので、手続していただけたら給付しますという形のご案内という形になります。

委員（二家本英生議員）

委員長。

委員長（前川和也議員）

副委員長。

委員（二家本英生議員）

そのご案内というのは、何か個別で通知するということによろしいですか。

健康こども課（谷野彰俊課長）

委員長。

委員長（前川和也議員）

谷野課長。

健康こども課（谷野彰俊課長）

はい、個別で通知させていただく予定しております。

委員（二家本英生議員）

委員長。

委員長（前川和也議員）

副委員長。

委員（二家本英生議員）

そういった対象の方には個別でお知らせすることはできるんですけども、やっぱりこれにどうしても漏れてしまう方というのは中にはいらっしゃると思います。そういった方々について多分、前回も広報とかホームページとかでお知らせはしてたと思うんですけども、今回も同じような形でされるかどうかの確認だけお願いします。

健康こども課（谷野彰俊課長）

委員長。

委員長（前川和也議員）

谷野課長。

健康こども課（谷野彰俊課長）

税が確定したことによって、先ほどのご質問に対する回答でもさせていただきました

が、こちらで確認できる方については通知をさせていただきます。で、家計急変という部分もございますので、その部分につきましては毎月、広報のほうに掲載させていただいておりますし、ホームページのほうにも掲載させていただいておりますので、それをご覧になっていただいて、該当する方については申請主義という形でお手続していただくような形になっております。

委員（二家本英生議員）

委員長。

健康こども課（谷野彰俊課長）

副委員長。

委員（二家本英生議員）

できるだけ漏れのないような形で、皆さんに届くような形でしていただきたいと思います。

じゃ、続きましてすみません、43ページのスポーツによる地域活性化推進事業なんですけども、こちらは先ほどから三宅委員からも話はあったんですけども、まずこのマップを作成するに当たって、報償費で作成委員会の委員謝礼ってなってますけど、この委員会の、どういった方が人選されるのかというのと、あと人数とか、そういったことを教えていただきたいと思います。

教育部（二重幸生部長）

委員長。

委員長（前川和也議員）

二重部長。

教育部（二重幸生部長）

医師会のほうから6名、それと大学ですね、大学の教授が1名、あとは町民の代表の方が1名、それとうちのコパンの代表の方が1名、あとは町の行政のほうから、一応教育委員会と健康福祉部のほうで5名の予定にしております。

委員（二家本英生議員）

委員長。

委員長（前川和也議員）

副委員長。

委員（二家本英生議員）

そしたら委員としたら合計14名になるんですかね。医師会6名と大学教授が1名、で、町の代表者が1名、コパンから1名、あと忠岡町の職員が5名という形で、合計14名ということで。この14名でそのマップ作りのことに関して、先ほど医療機関を載せるというのと、運動施設を載せるというのがあったんですけども、それは例えば区域も先ほど泉大津も入るということだったんで、忠岡町側にとっては、忠岡町の町の職員は忠岡町

の運動施設というのはある程度把握されてるとは思うんですけども、泉大津市側さんの運動施設の把握についてはどのような形でされますでしょうか。

教育部（二重幸生部長）

はい。

委員長（前川和也議員）

二重部長。

教育部（二重幸生部長）

一応、その実行委員会のほうから各スポーツ施設のほうに、一応アンケート調査みたいな形で、こういうのを造ります、で、ご賛同いただけたら情報提供をしてください。で、その情報をそのマップのほうに掲載していくというような、一応流れを考えております。

委員（二家本英生議員）

委員長。

委員長（前川和也議員）

副委員長。

委員（二家本英生議員）

じゃあ、そういったことでしたら、泉大津の運動施設に関してもある程度の把握はされてて、そこを使える、使えますよみたいな形の案内のマップはできるということで理解しました。

そういった中で、先ほど三宅委員もおっしゃってましたけども、結局このマップを作った後に、どういうふうな形で健康増進していくかというのがやっぱり今後の最終的な目標やと思います。その中で、例えば運動施設で仮にコパンを使いたいなってなったときに、やっぱりコパンへ行くのはいいんですけど、なかなか使いづらいなという方々も中にいらっしゃると思うんです。例えば利用料が高いとか、そういった場面でなったりした場合に、今後ですよ、今後、その初回か何か、1回だけでも補助金とかその、こういうせっかくこのマップ作って、健康増進のためにするわけですから、やっぱりそれ1回行って通っていただきたいというのが本当の目的やと思うんで、そういった方々に対してその補助金なり、何かそういった形の制度というのは今後の課題になると思うんですけども、その辺についてはどうでしょうか。

教育部（二重幸生部長）

委員長。

委員長（前川和也議員）

二重部長。

教育部（二重幸生部長）

先ほど来申し上げてるとおり、かかりつけ医さんのほうがいわゆる処方箋みたいな形でこういう、「あなたやったらこういう運動をしたらどうですか。それはこういう施設があ

りますよ」というような動機づけというんですかね。そういうような形を取っていくんですが、今おっしゃられてるような部分も含めて、先ほどと同じ答弁にはなるんですが、今後の実行委員会の中で提案といいますか、そういうふうな形では発言していきたいというふうに考えておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

委員（二家本英生議員）

委員長。

委員長（前川和也議員）

副委員長。

委員（二家本英生議員）

分かりました。やっぱりマップ作っただけやったらちょっとあまり意味がなくないかないかと思ひますので、そういったこともお願ひいたします。

で、ちょっとこれに関連してのことなんですけども、これ、スポーツ庁が出してる運動スポーツ習慣化促進事業という形の中の1つの事業ということで採択されてるんですけど、その中でいろいろプログラムを見てみたら、いろんなプログラムがあったんですね。で、1個例でいうと、障がいのある人がない人と一体となった形での運動、スポーツの習慣化の取組とか、そういったメニューとか、あとは要介護状態からの改善策を含めた介護予防を目指した地域における運動、スポーツの習慣化の取組とか、そういった様々なメニューがあったと思うんですけども、今回このマップの作成に、これを採択したという理由は何かありますでしょうか。

教育部（二重幸生部長）

はい。

委員長（前川和也議員）

二重部長。

教育部（二重幸生部長）

先ほどの説明でも言わしていただいたんですが、今回、あくまでも泉大津市医師会のほうからのご提案という形になりますので、泉大津市医師会のほうが今回、この運動スポーツ習慣化促進事業の中でこのマップ作成というものを選んだというところがございますので、本町としてはまさに賛同させていただいたというような形でございますので、ご理解いただけたらと思ひます。

委員（二家本英生議員）

委員長。

委員長（前川和也議員）

副委員長。

委員（二家本英生議員）

分かりました。泉大津市医師会からということだったんですけども、ほかの項目につい

ても他の団体からやっぱり要望とかあったら検討を今後として、多分これは来年度以降になってくると思うんですけども、また検討もしていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

以上で終わります。

委員長（前川和也議員）

他に、ご質疑はありませんか。

小島委員。

委員（小島みゆき議員）

すみません、先ほどの子育て支援センターなんですけども、民間が今まであるということで、新しく町立ということで、町が造るということで違いを出していかないといけないって以前おっしゃってたんですけども、どういうふうにされていくのか、ちょっと教えていただきたいんですけど。

教育みらい課（森野英三課長）

委員長。

委員長（前川和也議員）

森野課長。

教育みらい課（森野英三課長）

内容につきまして、公立の特徴というところで、やはり民間さんのほうではそういった行事ごとであったり親子の参加事業というのがメインでやられておりますので、公立の特色としましては、子育て支援の相談支援という部分に十分力を入れて、町内の子育て支援関係機関とも連携を図りながら皆さんのお話を聞いてまいりたいと考えております。よろしく願いします。

委員長（前川和也議員）

小島委員。

委員（小島みゆき議員）

ありがとうございます。ぜひよろしく願いいたします。

以上です。

委員長（前川和也議員）

他に、ございませんでしょうか。

委員（河野隆子議員）

委員長。

委員長（前川和也議員）

河野委員。

委員（河野隆子議員）

やっと公立の子育て支援センターができるということで、体制、先ほどお答えありまし

たけど、主幹保育士さんは、これはこの子育て支援センターの専属で保育士さんを雇うのか、それとあと会計年度の職員さん2名とおっしゃってましたが、この方の資格というのはどういったものなんでしょうか。

教育みらい課（森野英三課長）

委員長。

委員長（前川和也議員）

森野課長。

教育みらい課（森野英三課長）

1点目の主幹保育教諭なんですけども、もともと東忠岡保育所勤務でおった職員を子育て支援センターの専属の職員として配置をしております。

もう1点目の会計年度任用職員につきましては、保育士と幼稚園教諭の両方の免許を持っておる者となっております。

委員（河野隆子議員）

委員長。

委員長（前川和也議員）

河野委員。

委員（河野隆子議員）

専属で雇っていただけるということで、それはいいというふうに思います。チューリップさんが当初できたときに子育て支援センターがあって、一度見学へ行ったことがあったんですけど、もともとの主な保育所、保育士さんがこっちに来て行ったり来たりということをお聞きしましたんで、専属というところで、それはよかったというふうに思うんですが、大体一時預かりがどれだけあるか分からないということでしたけど、大体人数的にはどれぐらいの人数を予想されているんでしょうか。

教育みらい課（森野英三課長）

委員長。

委員長（前川和也議員）

森野課長。

教育みらい課（森野英三課長）

今のところ1日3名を最大として予定はしております。ちょっと申込みの状況であったりとか本人さんの特徴的なところも踏まえて、受入れの体制は検討してまいりたいと思っております。よろしくお願ひします。

委員（河野隆子議員）

委員長。

委員長（前川和也議員）

河野委員。

委員（河野隆子議員）

もちろん公立ですのでね、民間と違ってやっぱり指導的な立場、そういったところを生かしていただきたいというふうに思うんです。で、センター長会議も開かれるということでありましたけれども、あと相談支援ね。やはり保育所も行ってない、こども園も行ってないという、そういったお母さんが子どもさんを連れて来ると、そういったことが多いと思いますので、主に相談支援ということをおっしゃってましたけど、そこは保健師さんにつなぐとか、そういったことをお考えなんでしょうか。

教育みらい課（森野英三課長）

委員長。

委員長（前川和也議員）

森野課長。

教育みらい課（森野英三課長）

まずは、支援センターにお電話等々でご相談いただきましたら、内容はその保育、主幹保育教諭のほうの主になってお伺いさせていただいて、また必要があれば申し上げられている2階の保健センター部分等々とも連携して対応してまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

委員（河野隆子議員）

委員長。

委員長（前川和也議員）

河野委員。

委員（河野隆子議員）

分かりました。

それから、こども園費のところ、一般職給が730万ほど減になってるんですけど、この理由は何でしょう。

秘書人事課（中定昭博課長）

委員長。

委員長（前川和也議員）

中定課長。

秘書人事課（中定昭博課長）

秘書人事課のほうから答弁させていただきます。

人件費、補正に関しましては全般そうなんですけども、当初予算を組む段階で、その人員また現在配置されている職員の給与で予算を組みますので、退職者等が出て、採用で人数は増えてるんですけども、新卒の職員の率が高ければ、ちょっとその辺を減額という形になっております。

以上でございます。

委員（河野隆子議員）

委員長。

委員長（前川和也議員）

河野委員。

委員（河野隆子議員）

分かりました。じゃあ、ベテランさんというか、ベテランさんがやめて若い方というのはどうしても給料低いですから、最初、そういったところで減額になっていると、そういった説明であったというふうに思います。で、今こども園になってからですね、正規職員と非正規の職員の方の人数っていうのはどう、ちょっと教えていただけますか。

教育みらい課（森野英三課長）

委員長。

委員長（前川和也議員）

森野課長。

教育みらい課（森野英三課長）

すみません、ちょっと詳細な数字、今持ち合わせないんですけども、割合的には1対4ぐらいの割合で、正規職員が4で、会計年度サポートの方が1というところでお願いいたします。

委員（河野隆子議員）

分かりました。すみません、委員長。

委員長（前川和也議員）

河野委員。

委員（河野隆子議員）

それで、もちろん4月の時点では待機児童がないというふうにはお聞きしておりますが、ふだんはこの時期から、大体9月、10月から待機児童というのは出てくるんですけどね。今、現状としてはどうなのかというのと。

あと、こども園になったことで子どもの定員数ですね。これは何名でしたかね。

教育みらい課（森野英三課長）

委員長。

委員長（前川和也議員）

森野課長。

教育みらい課（森野英三課長）

1点目の待機児童につきまして、現時点で令和5年10月1日受入れの段階の数字、出ておりますので、この時点で待機児童数2名となっております。内訳は1歳で2名となっておりますので、よろしくお願いたします。

2点目の子どもの定員というところで、東忠岡こども園で申し上げますと、258名が

定員となっております。

委員（河野隆子議員）

委員長。

委員長（前川和也議員）

河野委員。

委員（河野隆子議員）

園も広くなりましたし、こども園化するに当たって待機児童を出さないと、そういったところが町のご説明だったんですが、もう10月1日時点で1歳児が2名というところがありますが、定員数は258名、目いっぱいこの258名の子どもさんがもう入所か入園かされてるんですか。

教育みらい課（森野英三課長）

委員長。

委員長（前川和也議員）

森野課長。

教育みらい課（森野英三課長）

直近で222名の定員となりまして、ちょっと年度によってやはり受入れの年齢の多い少ないがございまして、今年度が特にちょっと1歳児、0、1、2の人数が多いところで、このような結果になっているところでございます。よろしくをお願いします。

委員（河野隆子議員）

委員長。

委員長（前川和也議員）

河野委員。

委員（河野隆子議員）

もちろん職員の配置基準があるので、0歳だったら3人に1人とか、1、2歳は、今1、2歳は保育基準6名に対して先生1人だけど、町独自で5人っていうところで努力をされておりますが、それが続いて、今もまだやっていただいているんですかね。

教育みらい課（森野英三課長）

委員長。

委員長（前川和也議員）

森野課長。

教育みらい課（森野英三課長）

はい、そのとおりでございます。

委員（河野隆子議員）

そうすれば、定員数が258名で、まだ222名ということは、その差があるわけなんですけど、それは教室が足りないのではなくて、教室は十分あると思うので、先生が足りな

いと理解したらよろしいんですか。

教育みらい課（森野英三課長）

委員長。

委員長（前川和也議員）

森野課長。

教育みらい課（森野英三課長）

この定員に対しての222名というところの差でいうと、3、4、5歳のほうの部分で空きがございますので、0、1、2歳の部分がどうしても定員いっぱいになってる状態というところがございます。

委員（河野隆子議員）

委員長。

委員長（前川和也議員）

河野委員。

委員（河野隆子議員）

やはりいつも待機児童が出るというところ、0歳児は割と少なく、大体1、2歳が毎回待機児童、出ますよね。その年になるとお母さんが職場復帰するとか、そういったこともあると思いますので、そこはどうなんでしょうか。今後、先生を募集して、やはり待機児童は出さないというところでありましたので、そこはぜひ検討はしていただかないといけないと思いますが、いかがでしょうか。

教育みらい課（森野英三課長）

委員長。

委員長（前川和也議員）

森野課長。

教育みらい課（森野英三課長）

あとは施設の広さの問題も出てきますので、部屋のスペース的にも入れられる子どもさんの数というのにも限られてきますので、またその辺りは調査しながら検討してまいりたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

委員（河野隆子議員）

委員長。

委員長（前川和也議員）

河野委員。

委員（河野隆子議員）

もちろん子どもさん1人に何平米という面積、決まってるんだけど、もう1歳児が2名の待機児童が出てるところで、ここは町はちょっと努力して、詰め込みは駄目ですけどね、入所できるように努力はしないとイケないというふうに思いますが、再度お

答え願えますか。

教育部（二重幸生部長）

委員長。

委員長（前川和也議員）

二重部長。

教育部（二重幸生部長）

確かに保育士を増員すれば、単純に1人増やせば5名の1歳児であれば受入れは可能にはなるんですが、先ほども申し上げたとおり各施設に教室の大きさというのはもう決まっていますので、東のこども園でいうたら各、1歳児のクラスでいうたら10名だったかな、10名、10名というのが一応教室の大きさとしても決まっているのでね。そこに先生を1人増やしたからといって15名を入れるということになりますと、今度はその次の要は子どもの安心・安全という部分にもいわゆる、先ほど申し上げられた詰込みという形になってしまいますので、あくまでも我々としては適正な保育を実施していきたいと考えております。

で、特に0、1、2歳は、今までもそうなんです、なかなか十分なゆとりができないというところがございます。まあ、民間園においても乳児室というような形で別途開設もしていただいていますし、もちろんそこにも活用はしてるんですが、やはり限界というものはございますので、その辺りは単純に保育士を増やすだけではなく、いろいろな方面から検討していった適切な保育をしてまいりたいというふうに考えておりますので、ご理解いただけたらと思います。

委員（河野隆子議員）

委員長。

委員長（前川和也議員）

河野委員。

委員（河野隆子議員）

こども園のことはもう終わりますけど、そもそも1歳、2歳というのは待機児童が出るというのは最初から予想がついたと思いますので、今後やっぱり2名のお母さん、お仕事復帰したいけど、できないということでお困りだというふうに思いますので、また、そこは工夫というか、何かの形でちょっと考えていただきたいというふうに思います。

それで、続いてよろしいですか。

委員長（前川和也議員）

どうぞ。

委員（河野隆子議員）

すみません、運動、スポーツのマップのことなんです、説明で目的というのは分かりました。で、泉大津の医師会から提案があったというところで、泉大津と忠岡、医師会一

緒ですので、もちろん忠岡でお配りするそのマップですか、A3の1枚物ということですが、もちろん泉大津のスポーツジムとかそういったところも載ってくる、載ってるんでしょうね。というところで、泉大津のほうは逆にどういった形でやっておられるんでしょうか。医師会、一緒ですから、向こうは向こうでどうなんですか。

教育部（二重幸生部長）

委員長。

委員長（前川和也議員）

二重部長。

教育部（二重幸生部長）

私も聞いてますのは、泉大津市のほうではいわゆる新しい新規事業を補正予算、補正対応するという部分に関してはちょっと何か認めていないというふうに聞いてます。ですので、今回、泉大津市医師会のほうも当然、泉大津市のほうにもお声がけはしてるみたいですが、泉大津市としては今回の件に関しては連携していないというところで伺っておりますので、あくまでも忠岡町と泉大津市の医師会とが連携して実施していくというところでございます。

委員（河野隆子議員）

委員長。

委員長（前川和也議員）

河野委員。

委員（河野隆子議員）

分かりました。そうすると何で忠岡町は、これは別に当初予算に組んでもええと思うんですけど、補正を組むのか、補正を組んでまでするのかというのは、国庫支出金が出ていますので、それが今の時期でないともうもらえないという理由なんですか。

教育部（二重幸生部長）

はい。

委員長（前川和也議員）

二重部長。

教育部（二重幸生部長）

今回、泉大津市医師会のほうからご提案がありましたのは、もう年度が変わった後の話でございましたので、今回こういう形で補正予算という形で計上させていただいたところでございます。

委員（河野隆子議員）

委員長。

委員長（前川和也議員）

河野委員。

委員（河野隆子議員）

となるとですね、別に忠岡町も新年度の当初予算で組んだらいいんと違うんですか。なぜ補正を組むんだらうというところが分からないんです。泉大津は補正予算、組んでいないのに、なぜ忠岡町がこれ組んで、マップを作るのかというところは、やっぱり連携しないといけないですよ。泉大津も載せてあげるんですもの、忠岡町のそのお配りするの。で、何で忠岡町はそれをしないと、泉大津はしないのに何で忠岡町がするのか。泉大津は今度の来年の予算でこれを組んで、一緒にやるというんじゃないんでしょう。忠岡町だけがするんでしょう。ちょっとそれはおかしいなというふうに思うんですけど、考え方としてね。

委員長。

委員長（前川和也議員）

河野委員。

委員（河野隆子議員）

例えばこんなスポーツジム、コパンさんとかでしたらね、もう誰でも住民の人、知ってますわ、載せなくてもコパンのはね。なので、例えばコロナのときに公園、北出とか西区の公園だとかに高齢者向けの遊具というか、歩行するとかぶら下がり棒もあったんかな、そういうのも作りましたやん。でも、あれも全然利用されてる雰囲気がないんですよ。そう言ったこともあって、やっぱりあれなんかももっと宣伝するとか、また500万もかけてすることかというふうには思うんです。もちろんそれは健康寿命を延ばすというのは大事なことだというふうに思うんですが、なぜ忠岡町が泉大津の市内の分も載せて出さなあかんの。幾ら国からのお金といっても、これはちょっと私は理解できないなというふうに思うんですが。

町長（杉原健士町長）

委員長。

委員長（前川和也議員）

町長。

町長（杉原健士町長）

まあね、いろいろ事情がございまして、医師会とのつながりちゅうのもありますんで、あまり大きな声では言えませんが、泉大津市さんと医師会、その辺ご想像に任しますけども、というので忠岡町に頼りに来たというのは、これは実際事実なんで、その辺はちょっと声を小さく目にやっていただいたらありがたいなと思ってますので、よろしくお願ひします。これ以上は言えませんが。

委員（河野隆子議員）

委員長。

委員長（前川和也議員）

河野委員。

委員（河野隆子議員）

ちょっと納得はいきませんが、終わっておきます。

委員長（前川和也議員）

他に、ございませんでしょうか。

委員（二家本英生議員）

委員長。

委員長（前川和也議員）

副委員長。

委員（二家本英生議員）

すみません。ちょっと1点だけ聞き漏れたこと、あります。

こども園費の中でちょっと気になったのが人事のほうで、残業手当、時間外勤務手当が138万ほど追加で上がってます。これ、恐らく私の想像で、会計年度で時給が上がったりとかだとは思いますが、実際に保育士さんが働いてる時間が長くなってるのかっていう、そういったことはないのでしょうか。

秘書人事課（中定昭博課長）

委員長。

委員長（前川和也議員）

中定課長。

秘書人事課（中定昭博課長）

こども園の時間外勤務というところなんですけども、ちょっと私ども、役場に勤める職員の時間外勤務、仕事が追いつかなくてするのはちょっと性格が違いまして、土曜日、空いてる分がありますので、そこについては職員が、会計年度の方の力も借りながら土曜日の保育、教育をしているところでございます。

で、その分は、できる分については振り替えということでやってるんですけども、なかなか、いろんな打合せやったり会議やったりで平日に休む、振り替えて休むことが難しいというところで、現状はこういう形になっているというところでございます。

委員（二家本英生議員）

委員長。

委員長（前川和也議員）

二家本委員。

委員（二家本英生議員）

現状は分かりました。であれば、そういった保育所で、こども園で働いてる方の労働の負担になってないかというのは、ちょっとそこだけ確認したかったんですけども。

秘書人事課（中定昭博課長）

委員長。

委員長（前川和也議員）

中定課長。

秘書人事課（中定昭博課長）

労働という意味でいうと、負担にはなっている、労働時間が増えてるということですから、そういう意味でいうと負担にはなってるかと思います。それについて対価として時間外手当を支給しているということでございます。

委員（二家本英生議員）

委員長。

委員長（前川和也議員）

二家本副委員長。

委員（二家本英生議員）

やっぱりこういう保育所現場というのは結構大変な仕事なのでね、やはり保育時間帯でなかなか話してできないことも多いと思います。でも、そういった中でやはりちゃんとした規定の労働時間で働いていて、やはり時間を取ってもらうことも必要かと思いますので、そのためには職員を増やすとか、増やしてちょっと時間を取ってあげて、その保育時間内でできる限りそういった会議を行ってもらうとか、そういった形で対応してもらってもいいのかなと思ってますので、今現状ではこういう形で出してるということで、分かりました。よろしくをお願いします。

委員長（前川和也議員）

他に、ございませんでしょうか。

（「なし」の声あり）

委員長（前川和也議員）

なきようですので、質疑を終結いたします。

委員長（前川和也議員）

続きまして、討論を行います。討論はございませんでしょうか。

（「なし」の声あり）

委員長（前川和也議員）

では、討論も終結いたします。

続いて採決を行います。

（三宅委員「休憩」と呼ぶ）

委員長（前川和也議員）

分かりました。休憩の申し出がありましたので、ちょっと休憩したいと思います。次は11時半から再開いたします。

（「午前11時24分」休憩）

委員長（前川和也議員）

それでは、引き続き委員会を続けてまいります。

（「午前11時30分）再開）

委員長（前川和也議員）

討論が終わりましたので、続きましては採決を行います。

お諮りいたします。議案第34号 令和5年度忠岡町一般会計補正予算（第3号）について、原案のとおり可決することにご異議はございませんか。

（「異議なし」の声あり）

委員長（前川和也議員）

異議なしと認めます。

よって議案第34号は、原案のとおり可決されました。

委員長（前川和也議員）

次、議案第35号 令和5年度忠岡町介護保険特別会計補正予算（第1号）についてを、担当課より説明をお願いいたします。

高齢介護課（武藤優子課長）

委員長。

委員長（前川和也議員）

武藤課長。

高齢介護課（武藤優子課長）

議案第35号 令和5年度忠岡町介護保険特別会計補正予算（第1号）についてご説明申し上げます。

今回の補正予算は、令和4年度の収支が確定したことに伴い、歳入において令和4年度決算剰余金の前年度繰越金として計上、また歳出におきまして令和4年度の介護給付費、地域支援事業費及び令和4年度低所得者保険料軽減負担金の確定に伴い、国庫支出金等に対する精算返還金を計上するものでございます。

それでは、議案書の49ページをお願いいたします。

第1条は歳入歳出予算の補正で、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ5,061万1,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ17億9,097万1,000円とするものでございます。

内容につきましては事項別明細書によりご説明申し上げます。

52ページをお願いします。歳入でございます。第8款、第1項、第1目 繰越金で、補正額5,061万1,000円の追加は、前年度繰越金でございます。

続いて、53ページをお願いします。歳出でございます。第4款、第1項 基金積立金、第1目 介護給付費準備基金積立金で、補正額515万4,000円の追加は、介護給付費準備基金積立金でございます。第6款 諸支出金、第1項 還付金及び還付加算金、第2目 償還金で補正額4,545万7,000円の追加は、国庫支出金精算返還金2,293万3,000円ほかでございます。

説明は以上でございます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

委員長（前川和也議員）

説明は、以上のとおりでした。

ご質疑をお受けいたします。

委員（河野隆子議員）

委員長。

委員長（前川和也議員）

河野委員。

委員（河野隆子議員）

資料のほうを見ますと、内訳で返還金が多いんですが、その理由と、あと積立金ですね。これ、積立金も500万円積み立てるといことになんですが、この500万円を積んで、今までの積立で足してどれぐらいの金額になるんでしょうか。理由と金額をお願いいたします。

高齢介護課（武藤優子課長）

委員長。

委員長（前川和也議員）

武藤課長。

高齢介護課（武藤優子課長）

今回の精算返還金ですけれども、こちらは介護の給付費ですね。町の皆さんがサービス使われた費用の法定割合に基づいて算出されたものが、予算当初よりも低くサービスの給付費が抑えられましたので、返還することとなったものでございます。

で、なぜ減ったかというところですけども、年間の給付費、見てみますと、前年度よりも随分下がっております。上がり下がり、サービスによってはあるんですけども、大体2,600万円程度、前年よりも給付費は減っております。そちらの関係で、当初予算で計上していた各交付金との差が今回出たもので、精算返還金とさせていただいての計上となりました。

で、今回、その精算返還金を繰越金から差し引きしまして、残った分が基金の積立でとなるんですけども、515万積み立てさせていただきまして、基金の残高が7,800万円程度となっております。

委員（河野隆子議員）

委員長。

委員長（前川和也議員）

河野委員。

委員（河野隆子議員）

分かりました。やはりコロナになって給付が減ってきている。デイサービスなんかに行く回数も減ったり、施設自体がね、コロナ感染で閉めていたりとか、そういったこともあったと思うんです。そういったことの理由なのかなという、どういうふうに分
析されていますでしょうか。

高齢介護課（武藤優子課長）

委員長。

委員長（前川和也議員）

武藤課長。

高齢介護課（武藤優子課長）

そうですね。令和2年度からはやはりコロナによる利用控えですとか、やはりいろんな諸事情で事業所さん閉められてたことも、給付費の減少にはあるかと思
います。それに加えて、令和4年度についてはお亡くなりになる方が例年より多
うございまして、大体統計を見ますと例年170人前後の、65歳以上の方、お
亡くなり出てるんですけども、4年度については240人お亡くなりにな
っておりました。で、やはり弱い方というたら変な言い方なのかもしれ
ないんですけども、介護度高かったり、何かしらある方というのが、や
はりちょっとそういう状況にはなりやすいところかと思うので、その
結果、サービスの給付費が減ったものかと思われ
ます。

委員（河野隆子議員）

委員長。

委員長（前川和也議員）

河野委員。

委員（河野隆子議員）

ちょっと今、人数聞いて、たくさんお亡くなりになられてるというのが分
かりました。それで、500万円積み立てるということで、合計7,800万
円の積立金になるということなんですが、なぜ積み立てるのかという、
その根拠といいますか、それは何なん
でしょうか。

高齢介護課（武藤優子課長）

委員長。

委員長（前川和也議員）

武藤課長。

高齢介護課（武藤優子課長）

こちら、積立てとなる分がですね、サービスの給付費等々から算定しました保険料ですとか、あとは国や府、町からの交付金などで運営してるんですけども、そちらを精算させていただきまして、実際サービス使った分の対価としてお支払いした残りが、準備基金として積み立てるところに乗ってくるものでございます。

委員（河野隆子議員）

委員長。

委員長（前川和也議員）

河野委員。

委員（河野隆子議員）

で、この7, 800万円ですか、これはまた3月、来年4月から新しい、介護保険料も変わってくると思うんですが、この使い道というのはどういうふうにお考えでしょうか。

高齢介護課（武藤優子課長）

委員長。

委員長（前川和也議員）

武藤課長。

高齢介護課（武藤優子課長）

こちらですね、情勢が変わったり何かあったときの介護給付を守るために準備基金としてためているものになるんですが、議員おっしゃるとおり来年度から介護保険、第9期というところで、3年ごとの新しい計画期間に入ります。で、今そちらのいろんな計画の策定の会議等してるところでございまして、そちらの中でこの準備基金を使って保険料の抑制等に使わせていただけたらと思っておりますので、お願いいたします。

委員（河野隆子議員）

委員長。

委員長（前川和也議員）

河野委員。

委員（河野隆子議員）

そうしましたら、次の4月からの保険料にこれは入れるというお答えでありました。そもそも忠岡町の介護保険料というのは、府下でももう上位ずっと占めてますので、やはりその保険料を設定するときに、今回はこれ、サービスの給付費が低かったということですが、そもそも介護保険料が高いですからね。そこをやっぱり見誤ると、やっぱり皆さんの住民の負担がかなり来るとということで、非常に介護保険料、高いです。ですので、保険料を設定するときに、私たちは党のほうでは、ずっと一般会計からも繰り入れて保険料を抑えるようにということはずっと提起させていただいてるんですが、来年4月からの保険料の設定をするときに、やはりちょっと高く見積もりし過ぎているんじゃないかなというふうには思います。そこら辺はいかがでしょうか。

高齢介護課（武藤優子課長）

委員長。

委員長（前川和也議員）

武藤課長。

高齢介護課（武藤優子課長）

保険料につきましては、65歳以上の1号保険者の方につきましては、町の皆様が使われる介護サービスの給付費の23%という法定割合がございますので、そちらから割り出させていただいています。ですので、やはりサービスをたくさん使うと保険料は上がってしまう仕組みにはなっておるんですが、今後ですね、やはり少子超高齢化と言われるようになってきておまして、高齢者が増える一方で、支え手が少なくなってくる。特に75歳以上の世代の方ですね。後期高齢者の方が増えていくというのはもう明らかですので、そちらのところの給付費の利用の見立てから決めさせていただくのですが、取り過ぎないというのは変な言い方かもしれませんが、適正な量で算定をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。

委員（河野隆子議員）

委員長。

委員長（前川和也議員）

河野委員。

委員（河野隆子議員）

65歳以上、その1号保険者ですか、23%という今、武藤課長のほうから言われてましたけど、もうこの23%が上限でしたよね。もう上限というか、それ以上は、いつも1%ずつ上がっていったと思うんですけど、その部分ですかね。

高齢介護課（武藤優子課長）

委員長。

委員長（前川和也議員）

武藤課長。

高齢介護課（武藤優子課長）

これまで、今年度まではその基準で設定となっております。ただ、来年度からの計画に当たっては、国の指針等もまだはっきりと出ておりませんので、変わる可能性もなくはないというところをお願いいたします。

委員（河野隆子議員）

委員長。

委員長（前川和也議員）

河野委員。

委員（河野隆子議員）

まあね、国のお金、入れるのがだんだん減ってきてますのでね。もちろん保険料が上がるといのは、国のお金をもっと入れてもらわなあかんというふうに思いますので、そこから辺はまた要求をしていただきたいというふうに思います。

高齢介護課（武藤優子課長）

委員長。

委員長（前川和也議員）

武藤課長。

高齢介護課（武藤優子課長）

国の負担の費用ですけども、こちらも割合が決まっております、25%というところで確定しております。ですので、減っていくというところはないんですけども、従前からやはりなかなか介護保険の運営が厳しくなってきた中で、国の負担割合を見直してほしいという要望はかけておりますので、今後も引き続きさせていただきたいと思っております。

委員長（前川和也議員）

他に、ございませんでしょうか。

委員（河野隆子議員）

ごめんなさい。最後に簡単に。

委員長（前川和也議員）

はい、どうぞ。

委員（河野隆子議員）

すみません。ちょっとこの補正予算と関係ないんですけど、この前、全協のときに地域包括支援センターね。あれが民間のほうにちょっとお願いするということを説明あったと思うんですけど、駄目ですか、聞いたら。介護保険やけど。

委員（三宅良矢議員）

そこまで聞いていいの。

委員長（前川和也議員）

いや、冒頭にもう「関係ないことなんですけども」と言うてしもてるんで。

委員（河野隆子議員）

ああ、言うてしもたらあかん。

委員長（前川和也議員）

はい、ご理解いただけたらなと思いますので。

委員（河野隆子議員）

それなら、これはまた決算委員会で聞いてもらうようにします。

委員長（前川和也議員）

ないですね。ほか、大丈夫でしょうか。

(「なし」の声あり)

委員長（前川和也議員）

それでは、質疑を終結いたしまして、討論を行います。

討論はございませんでしょうか。

(な し)

委員長（前川和也議員）

では、討論も終結いたします。

続いて、採決を行います。

議案第35号 令和5年度忠岡町介護保険特別会計補正予算（第1号）について、原案のとおり可決することにご異議はございませんか。

(「異議なし」の声あり)

委員長（前川和也議員）

異議なしと認めます。

よって議案第35号は、原案のとおり可決されました。

委員長（前川和也議員）

以上で、本委員会に付託を受けました議案2件について、全て議了いたしました。

本日の審議経過並びに結果については、次の本会議において委員会委員長報告を行いますので、よろしくお願いいたします。

委員長（前川和也議員）

その他、理事者のほうで何かございませんでしょうか。

(な し)

委員長（前川和也議員）

我々の、こちらのほうで、委員さんのほうで何かありませんでしょうか。

委員（河野隆子議員）

すみません、委員長。

委員長（前川和也議員）

はい。

委員（河野隆子議員）

そしたら、さっきの続きなんですけどね。ごめんなさい。申し訳ない。

民間にちょっとお願いするという話、あったんですけど、どんなふうになるのかな。ちょっと流れというか、今、そもそも役場にあるけれども、どうなるんですか。

地域福祉課（藤原直臣課長）

委員長。

委員長（前川和也議員）

藤原課長。

地域福祉課（藤原直臣課長）

そうですね。今現在行ってるのは、社会福祉法人であつたりとか医療法人のほうに、今現在、地域包括はこういう仕事をしてますというところで、業務内容を説明しながらサウンディングを行っているという状況です。そこで手を挙げていただける事業所があれば、プロポーザルというふうな形で進めていきたいなど、このように思っております。

事業内容ですか、やってる。幅広くありますんで、さわりだけ言いましょうか。どんな内容か。

そうですね。大きく言いますと8つ機能がありまして、1つ目は介護予防のマネジメント、よく言うケアプランですね。これの作成に当たったりとか。

次に、総合的な相談ということで、高齢者や家族、近隣に住まれる方の全体的な悩み相談。

3つ目が、権利擁護事業といいまして、高齢者が安心して暮らせるような成年後見制度などの紹介をしていくと。

4つ目が、包括的・継続的なケアマネジメント支援ということで、関係機関とのネットワークづくり。

5つ目が、地域ケア会議の開催ということで、定期的に、介護予防であつたりとか生活支援の観点から予防サービスの総合調整を行うと。

6つ目が、認知症の総合支援事業ということで、早期診断、早期対応への支援と。

7つ目が、生活支援体制整備事業といいまして、生活支援サービスの体制づくりを地域でつくっていくという仕組みでございます。

最後、8個目なんですけども、在宅医療介護連携推進事業といいまして、医療機関と介護の両方を必要とする高齢者が、地域で住み慣れて、最期まで暮らしていける体制づくりに取り組むと。

こういった8つの事業を、今、よその事業所でできるかどうかというのをサウンディングしている状況でございます。

委員長（前川和也議員）

ほかに、ございませんでしょうか。

委員（二家本英生議員）

委員長。

委員長（前川和也議員）

副委員長。

委員（二家本英生議員）

すみません、今、来年、来期に向けての障がい者福祉計画、障がい児福祉計画というのを策定準備されてるとは思うんですけども、今、アンケートが各ご家庭に届けられてると

思います。このアンケートの配布について、どの程度、対象は誰に送ってるか、教えていただきたいと思います。

地域福祉課（藤原直臣課長）

委員長。

委員長（前川和也議員）

藤原課長。

地域福祉課（藤原直臣課長）

障がい手帳をお持ちの方全員です。

委員長（前川和也議員）

副委員長。

委員（二家本英生議員）

これはもう次回からの提案になるんですけども、いいですか。

委員長（前川和也議員）

どうぞ。

委員（二家本英生議員）

すみません、これは次回からの提案にはなるんですけども、やっぱり障がい者に限定するのもいいんですけども、一般の方にも、障がい者、障がい児に対してどのような感想とか持ってるかというのを、それも含めてアンケートに入れていただいたらちょっと幅が広がるんじゃないかということを思っています。

やっぱり障がい者、障がい児が抱えている問題というのも大事かもしれませんが、障がい者、障がい児が生きていく中で、地域で住む、生活するためには周りの方の協力も必要かと思いますので、周りの方が障がい者、障がい児についてどういうことを思っているのかというアンケートも同時に取っていただいたら、そのアンケートの幅もちょっと広がるんじゃないかなと思って、次回からで結構なんでもお願いしたいと思います。

委員長（前川和也議員）

ほかに、ございませんでしょうか。

（な し）

委員長（前川和也議員）

なきようですので、これにて福祉文教常任委員会を閉じたいと思います。

閉会に当たり、町長より一言ご挨拶よろしく申し上げます。

町長（杉原健士町長）

どうも長時間にわたりまして慎重にご審議いただきまして、誠にありがとうございます。

一般会計補正予算のほうの部分で、いろいろカメラ等々のところで、教育のほうからのお話でしたけれども、私も答弁に対しましてハラハラ、ドキドキしてる次第でございます。

す。こちら、事務方と現場との意思の疎通というんですか、その問題もあつての欠点事項というのはいまいこと埋めてないのかなというのがまざまざと前に出たのかなと聞いています。それを踏まえながら、しっかりと前を向きながら、安心・安全を確保して、そういう現場に対しましてもしっかりと予算をつけながら頑張っていきたいと思います。

ご理解のほどお願いいたしまして閉会のご挨拶とさせていただきます。どうも本日はご苦勞さんでございました。

委員長（前川和也議員）

ありがとうございました。これにて閉会といたします。お疲れさまでした。

（「午前11時50分」閉会）

以上、会議の顛末を記載し、これに相違ないことを証するため、ここに署名いたします。

令和5年9月13日

福祉文教常任委員会委員長 前川和也

福祉文教常任委員会委員 二家本英生